

NIK 川北直人レポート TIMES 2016

世代をつなぐ絆をつくり、 町と笑顔と未来を守る。



■ご挨拶／平成28年度当初予算の概要

■新たな取り組み／予算審査、常任・特別委員会での主な質疑内容

■区政活動報告会のご案内、他

ご挨拶

日頃より、地域の皆様には大変お世話になります。

いよいよ新年度がスタート致しました。区議会におきましては、去る2月24日から3月30日まで平成28年第1回定例会が召集され、平成28年度予算審査や各常任・特別委員会において区政喫緊の課題についての審議を行い、平成28年度予算案を含む、条例案43件を可決致しました。今回のレポートでは、可決した平成28年度当初予算の概要や新規事業、主な取り組みについて、また予算審査、常任・特別委員会での私の質疑内容等についてご報告をさせていただきます。



平成28年度当初予算の概要

『スポーツと人情が熱いまち 夢への加速予算』を可決!

平成28年度当初予算の規模は、一般会計予算1,886億38百万円、特別会計(国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療)1,011億3百万円、合計2,897億41百万円と過去最大規模の当初予算編成となりました。

本区が目指す平成28年度予算編成に際しての基本方針は、①**予断を許さない景気動向の中でも回復基調にある現状を格好のチャンスと捉え、人口急増や東京オリンピック・パラリンピック開催準備など新たな課題への対応や真に必要な区民サービス向上のため、創意工夫と実行性に富んだ施策を積極的に充実させる。**②**多様な行政課題に迅速・的確に対応し、施策を活性化するために、職員の意欲と活力を更に引き出し、事業の優先順位を見極めて既存事業の見直しや新たな事業を大胆に展開していく。**③**「江東区行財政改革計画」(後期)を着実に実施することで、景気動向に左右されやすい不安定な歳入構造にあっても、持続可能で安定的な行財政運営を行うとともに、広告事業等の推進によって得られる歳入を区民サービス向上に活用していく、とあります。**

この基本方針に沿って編成された新年度予算案に対し、区議会予算審査委員会では各委員より地域ごとの課題への対応策や要望などについて質疑が行われ、区長提案の通りに予算案を可決致しました。大きな方向性として、人口急増地域のインフラ整備や小中学校の収容対策に要する経費、2020年東京オリンピック・パラリンピックを成功に導くための取組みなど、積極果敢な予算編成となったことは大変評価できる一方で、依然として急増する**保育園待機児童問題については、特に清澄白河駅を中心とした地域で深刻化**しており、平成28年度中に保育園を緊急整備する事が絶対的に必要な状況であることを強く求めていきたいと思っております。

新年度予算の新たな取り組み

可決した平成28年度予算の新たな取り組みの中で、主なものをご紹介します。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて

区の魅力を発信!ブランディング戦略を本格実施

「SPORTS&SUPPOTS KOTO City in TOKYO スポーツと人情が熱いまち江東区」をブランドコンセプトに、充実したスポーツ環境と伝統的に受け継がれてきた下町人情を区の魅力としてPRしていきます。



障害者スポーツのイベントや指導員養成を推進

障害者や障害者スポーツへの理解を促進し、2020年東京パラリンピック大会の気運醸成を図ります。

急増を続ける保育需要に迅速に対応

認可保育園の整備を計画

急増する保育需要に対応するため、地域の実情に応じて民設民営により1000人程度の認可保育所定員増を目指します。

育児不安を払拭!全ての親子がハッピーな子育てを実現

実用的な子育てスキル講座で児童虐待を予防!

子育て講座(愛称『はぴトレ』)を開催し、乳幼児期から保護者の育児不安の払拭を目指し、児童虐待を未然に防ぎます。



妊娠期から子育て期にわたり、切れ目なく支援する体制を整備

専門職による全ての妊婦への面接&産後ケアを実施

全ての妊婦を対象に、妊娠期から助産師等の専門職がかかわることで、出産・育児への不安軽減を目指し、安心して子育てできる環境を整備します。

国有地を活用した複合型介護施設

区内15か所目特別養護老人ホームを整備

塩浜一丁目の旧農林水産研修所跡地(国有地)を活用して特別養護老人ホームを民設民営で整備します。

住み慣れた地域での暮らしをサポート

「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始

元気な高齢者や要支援状態に相当する方々を対象に、住民やNPO、民間企業等が連携し多様な主体による介護予防の取り組みを推進します。

エコで便利な地域の足、観光の足を目指します

コミュニティサイクル展開エリアを拡大

近隣区(千代田区、中央区、港区)との相互乗り入れを実施しているコミュニティサイクルの区内全域への展開を進め、利便性の向上とエコを推進します。



電動アシスト自転車



有明客船ターミナル サイクルポート

予算審査、常任・特別委員会での主な質疑内容

質疑の動画は [江東区議会インターネット中継](#) で検索して下さい。

平成28年度予算審査特別委員会

【民泊について】

東京都は国の総合戦略特区に指定され地方自治体が条例を制定することで旅館業法の規制緩和を受けて民泊ビジネスを展開できる地域に指定されていますが、条例が制定されていない本区内においてもすでに民泊ビジネスサイトにマンションの一室やゲストルーム、空き家などが登録され実際に外国人等の旅行者等に提供されてしまっているのが現状です。明らかに違法行為となっているこの状況を放置しておく、**テロ行為などの犯罪の温床や感染症の拡大、平穏な住環境への悪影響**など、2020年東京五輪大会開催にむけてますます外国人旅行者が急増する中で、様々な問題が生じかねません。これら**違法民泊ビジネスに対する取り締まり強化**と同時に、物件提供者がホストとなって外国人宿泊者を受入れ、地域の観光や宿泊ルールなどに責任をもって取組める、いわば**「ホームステイ型民泊」**を認めていく方向について質疑を行いました。区答弁では、国における新法の制定に向けた動向を見定めていく、との事ですが、既存旅館業との共存や区民の良好な住環境を守りつつ、地域経済への波及効果やおもてなしの実現に向けた取り組みを進める上での研究を重ねるよう、要望を致しました。

【地域防犯カメラ設置補助金制度について】

地域の方々のご尽力で進められている元加賀小学校通学区域6町会が纏まって平成28年度中に防犯カメラを導入する取組み事例は、1町会や1団体のみで防犯カメラを設置するよりもはるかに効率的かつ自治会負担が軽く、また地域全体での取組みとなることから、**犯罪抑止力としての効果も非常に高い**と思われます。質疑を通じて、この町会自治会の地域犯罪抑止力向上に向けた取組みを更に支援するよう、要望を致しました。

【障害者スポーツのイベント事業について】

2020年東京五輪大会の成功の鍵は、オリンピックが行われた後に開催される**パラリンピック大会をいかに盛り上げるか**にあると思います。新年度予算案に盛り込まれた障害者スポーツの振興策である障害者スポーツイベントの開催について、①**ボッチャや車いすバスケット、車いすテニスなど、東京大会時に区内競技場で開催される競技を中心に、障害者スポーツの理解促進を促す事**、②**障害者スポーツの理解促進と機運醸成の機会を創出するため、東京大会開催までの間にボッチャなどのパラリンピック正式競技の国内大会を江東区に誘致する事**、③すでに**障害者競技団体との連携を取っている民間企業のノウハウを十分活かす事**、の3点を強く要望致しました。

【公園内の球技禁止について】

昨年の区政一般質問に続き、本予算審査でも公園内の球技禁止の問題を取り上げ質疑しました。**子ども達がのびのびと遊びながら、同時に公共ルールを学ぶ場所として、公園内の行動規制のあり方を改めるとともに、子ども達の遊び方を見守る仕組みを作るべき**です。船橋市においても同様の取組みが始められていることも取り上げ、試験実施に向けて要望を致しました。

【小学生自転車安全教室について】

全国で自転車利用時の小学生の交通死亡事故が多発しており、近年本区内においても大変痛ましい死亡事故が生じております。現在行われている小学生自転車安全教室では、各学校の校庭内に道路や交差点、横断歩道、車のドライバーから見て死角となる場所等を模擬的に用意し開催されておりますが、立川市での取組み事例を交えながら、**実際に車や他の通行者の往来のある公道で実践的な安全教室を開催し、小学生自身が自分の身を自分で守る意識を高く持てるような指導を行うべき**であると質疑を行いました。今後の研究課題として取組むよう、要望を致しました。



【白河地区の一方通行車両の増加について】

現代美術館やカフェなどの飲食店の進出により、休日を中心に来訪者が急増している白河地区において、最近**来訪者による一方通行車両が急増している問題**を取り上げ、警視庁とも連携を図り通常の道路標識に加え、区独自に**進入禁止路面標示を整備**するよう質疑を行いました。また、東京五輪大会の開催も見据え、外国人にも分かりやすい世界標準の交通標識へと変更する事も合わせて調査研究し、国への働きかけを行うよう求めました。

建設委員会

【豊洲ふ頭内公園の管理運営について】

江東区で初の取組みとなるPPP(公民が連携して公共サービスの提供を行う手法)による豊洲ふ頭内公園の管理運営事業について、平成29年4月1日から事業開始に向けて準備が進む中、28年度中に本区と連携する民間企業者を選定する事となります。これに先立ち昨年10月より進められていた賑わいを創出するための民間アイデアの募集状況や応募件数、水辺を活用したイベントを開催する際に影響のある都市公園法や港湾法などの規制について規制緩和を国や都に求める事について質疑を行い、同手法によって**既存の豊洲公園や商業施設、豊洲新市場、千客万来施設などと併せて、新たな豊洲の賑わいが創出される**よう、要望を致しました。



オリンピック・パラリンピック推進特別委員会

【東京都に提出している要望事項について】

昨年開催された委員会中に資料要望をしていた東京都への要望事項の反映状況について、今委員会で現状での報告が資料として提出されました。要望内容は多岐にわたっておりますが、特に**障害者に優しいまちづくりを目指した要望(公共交通駅等から各競技場へのアクセスの完全バリアフリー化など)については、その全てが実現されるよう集中して要望**していくよう、求めました。また、辰巳に建設されるアクアティクスセンターでは、東京大会後に観客席が2万席から5千席に減築されることから、**取り外されたイスを都バス停留所のイスとして再利用**するよう、要望を致しました。

中央防波堤埋立地の帰属問題について

3月25日、大田区議会は突如として、同地の全島帰属に加え、東京都への調停申請を速やかに求める決議を行いました。これに対して江東区議会は、3月30日最終本会議において議長より次のような声明を発表し、44名の江東区議会議員全員が一致結束を致しました。

本課題については、去る3月8日に江東区長と大田区長が対談し、前向きに協議する旨を確認したと聞いております。このような状況にありながら、3月25日、大田区議会在、全島帰属に加え、東京都知事への調停申請を速やかに求める内容の決議を可決したことは、理解に苦しむものであり、まずは、両区長が確認した通り、両区間での協議から始めるべきであります。

江東区議会は、我々議員一同、帰属問題の解決に向け、今後も、これまでと同様、行政と共通の認識を持ち歴史的経緯を踏まえながら、区民、行政、議会が一体となった取り組みをして参ります。

平成28年3月30日
江東区議会

区政活動報告会のご案内

日時：平成28年5月23日(月) 18:30(予定)
場所：ティアラこうとう B1F会議室
テーマ：区政の新規事業と保育園待機児童など
喫緊の課題について(予定)

※お問合せは右記事務所まで、お電話、FAX、E-mailなどからお気軽にどうぞ。

事務所のお知らせ

江東区議会きずなを守る会
江東区白河1-2-1ジョインハウスイワキ203
電話/03-5621-6288 FAX/03-5621-6266
E-mail/7010@naoto-k.com
HP <https://www.kawakitanaoto.com>
f <https://www.facebook.com/naoto.kawakita>